

東海地域の 6次産業化推進人材育成

第8期生募集 募集期間 2019. **6.14** 金 ▶ 2019. **8. 2** 金

- ・ 6次産業化ビジネスの“あるべき姿”を設計する
- ・ サプライチェーンを統合して、最適システムを設計する
- ・ ニーズ起点の戦略商品を設計する



日 程

2019年**10**月～2020年**1**月

9:30～16:50 座学9日間、視察3日間及びeラーニング

会 場

大学・各視察先 他

募集人員

15名

受 講 料

80,000円

割引制度あり〔割引後受講料〕

①豊橋市、田原市在住・在勤者 30,000 円

②協賛企業推薦者 30,000 円

③農林水産業従事者等 50,000 円 ※詳細は募集要項参照

対 象 者

農林水産業者、農林水産業の6次産業化に関心を持つ方

応募資格

インターネット、Eメールが使える方

食PRO.
LEVEL3 [2015]

国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」キャリア段位申請可能



本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。
BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/>]より志願書をダウンロードし、Eメールまたは郵送にてお送りください。

申込先 ▶ 国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ケ丘1-1 TEL 0532-44-1016 E-Mail: 6jisangyo@recab.tut.ac.jp

主催：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催：豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市、(株)サイエンス・クリエイト

協賛：田原市、イノチオホールディングス(株)、(株)サーラコーポレーション、(株)大仙、トヨタ(株)、豊橋信用金庫、本多電子(株)

東海地域の6次産業化推進人材育成

【教室講義】

カリキュラム名	日 程	講 師	所 属 ・ 役 職
オリエンテーション	2019 年 10 月 5 日（土）	山内 高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
基本理念（ビジョン）の共有とビジネスプランの作成方法		長谷川 潤一	（一社）食農共創プロデューサーズ代表理事
「食の 6 次産業化プロデューサー」について		林 加代子	（株）ソーシャル・アクティ代表取締役
ファシリテーション			
6 次産業化の必要性と展開パターン	2019 年 10 月 19 日（土）	藤井 吉隆	愛知大学 地域政策学部教授
連携型 6 次産業化事例			
農業経営と企業経営			
プレゼンテーション手法			
行政機関における 6 次産業化の支援施策と支援機関	2019 年 11 月 2 日（土）	松尾 晃治	東海農政局経営事業支援部地域連携課
経営戦略		日野 眞明	MORE 経営コンサルティング（株） 代表取締役
マーケティングの手法			
経営理念 / 組織・経営者論			
農産物輸出概論	2019 年 11 月 3 日（日）	広木 拓	日本貿易振興機構（JETRO）名古屋
農産物輸出実践論		平松 賢介	（株）平松食品 会長
ビジネスプランの作成Ⅰ	2019 年 11 月 9 日（土）	山村 友宏	（有）F. T. Y. 取締役
食品加工論Ⅰ	2019 年 11 月 16 日（土）	中西 勘二	（株）丸八製菓 次長
食品加工論Ⅱ			
食品開発における栄養と機能			
食品加工における安全・衛生管理 / 関連法規			
農産物の品質管理Ⅰ（H A C C P 概要）	2019 年 11 月 30 日（土）	功刀 由紀子	愛知大学 地域政策学部教授
農産物の品質管理Ⅱ（G A P 概要）		山口 治子	愛知大学 地域政策学部准教授
		山本 英治	イノチオホールディングス（株）
商品・サービスの価値形成の考え方・手法	2019 年 12 月 7 日（土）	山内 高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
農業と融資		宮川 直樹	豊橋信用金庫事業支援部部長
農業制度資金の活用と経営支援の仕組み		担当者	日本政策金融公庫名古屋支店農林水産事業
ビジネスプランの作成Ⅱ	2019 年 12 月 21 日（土）	山村 友宏	（有）F. T. Y. 取締役
ビジネスプランの発表	2020 年 1 月 11 日（土）	山村 友宏 他	（有）F. T. Y. 取締役 他

【e-ラーニング】(必須科目)

カリキュラム名	講 師	所属・役職
6次産業実践論	加藤 寛昭	食と農研究所 代表
商品・サービス・価値形成の考え方・手法 1・2	天野 良英	(有) NEW ビジネス研究所 所長
事業開始前のマーケティング	勝瀬 典雄	兵庫県立大学大学院経営研究科 客員教授
商品化後のマーケティングと実例	高野 克三	アグリビジネスコンサルタント6次産業化プランナー
財務会計 I、II	三好 巧	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士

【e-ラーニング】(参考科目)

カリキュラム名	
6次産業化概論	農林水産業の政策動向
ビジネスプラン作成	地域内外でのチームの作り方 (概論)
地理的表示保護制度 (知的財産で農業成長へ)	地域活性化に向けた再生可能エネルギー事業構想の描き方
6次産業ビジネスの展開医療介護参入事例	「日本の食文化と健康」に学ぶ、地域ビジネス創出のスキル
【事例】企業・地域を経営するとは1 (伊豆沼農産事例)	【事例】企業・地域を経営するとは2 (ファーマーズフォレスト事例)
【事例】地域内外でのチームの作り方2和郷園事例	【事例】地域の新産業はどうすれば生み出されるか リバネス事例
食品の機能性 - 科学的に考える新たな商品価値 -	農業大国フランスの農産物ブランド戦略 - 原産地統制呼称 (AOC) の歴史と効果
財務・会計・資金調達 (1) 資金調達と事業主体	財務・会計・資金調達 (2) 収支計画の立案と PDCA
損得学 1・2	総合化事業計画作成における申請書記載のコツ

【その他】

1. 開講式は、2019 年 10 月 5 日 (土) に、修了式は 2020 年 1 月下旬を予定しています。
2. 先進事例調査研修は、2019 年 10 月 26 日 (土)、11 月 23 日 (土)、12 月 14 日 (土) の日程で、3 日間を予定しています。

※教室講義は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。

■ IT 農業ネットワークおよび「東海食 pro. の会」の活動

注) IT 農業ネットワークとは、先端農業・バイオリサーチセンターが行っている人材育成事業の修了生で組織するネットワークで、講座修了後は、この IT 農業ネットワークの会員となります。

(1) IT 農業ネットワークシンポジウムとアグリフェアの開催

IT 農業ネットワークシンポジウムは、修了生の活動報告や情報交流の場として現在まで9回開催されている。また、このシンポジウムに併せ、修了生及び受講生が、自身の農産物や農業関連製品を展示、発表することを目的としてアグリフェアを同時開催している。

(2) IT 農業サポートセンターからのサポート

先端農業・バイオリサーチセンター内にあるIT農業サポートセンターでは、IT農業ネットワーク会員に対して、「ITアグリ通信 (毎週配信)」と、「IT農業だより (隔月発行)」をメール送信し、農業関係の最新情報や会員の活躍状況などを伝えている。

(3) 「東海食 pro. の会」の活動

6次産業化推進人材育成プログラム修了生同士の交流を図る目的で、2015 年度に「東海食 pro. の会」が発足し活動している。

①学校名:	豊橋技術科学大学		②所在地:	愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1－1			
③課程名:	東海地域6次産業化推進人材育成プログラム		④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム		⑤開設年月日:	平成31年10月5日
⑥責任者:	浴俊彦(先端農業・バイオリサーチセンター センター長)		⑦定員:	15名		⑧期間:	4ヵ月
⑨申請する課程の目的・概要:	豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、農業者や農業分野へ新規参入を検討している方を対象として、企業関連ビジネスなどを設計し、その実施に向けた意思決定ができ、6次産業を推進できる人材を育成することを目的としている。						
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍, 中小企業, 地方創生	⑪履修資格:	高等学校卒業程度の学歴を有している人 (本学において、同等以上の学力があると認めた者を含む)				
⑫対象とする職業の種類:	6次産業化を希望している農業者, 農業生産法人勤務者, 農業関連企業(農業資材, 肥料農薬関係, 種苗等)勤務者, 学生, その他6次産業化に興味のある方。						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 食品加工, 食品安全衛生手法, 6次産業化におけるビジネスプラン作成手法, 経営手法			(得られる能力) 6次産業化のマネジメント能力, 科学技術的な思考能力			
⑭教育課程:	教室講義により食品加工, 食品安全衛生手法, マーケティング手法や6次産業化におけるビジネスプラン作成手法を修得する(57時間), e－ラーニングにより, 6次産業化の基礎知識や成功事例手法等を修得する(19時間)。先進事例調査研修(19時間:10ヶ所)により先進6次産業化経営手法を学び, 6次産業化に関する基礎知識を修得する。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	全ての科目を修得し, 調査研究成果の発表を行い, 審査に合格すること						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」交付						
⑰総授業時数:	98時間	⑱要件該当授業時数:	98時間	該当要件	企業等双方向実務家実地	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	100.0%
⑳成績評価の方法:	各科目においては,レポートを提出させ,採点は90点以上をS, 80～89点をA, 70～79点をB, 60～69点をCとし, 60点以上の場合に修得したと判定する。先進事例調査研修は, 研修後のレポートにより同様に評価する。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。 愛知県, 豊橋市, 田原市, 豊川市, 新城市, 蒲郡市の関係部局担当者を委員に含む運営委員会において, 講義や実施の内容について自己点検するとともに, 愛知県東三河総局, 東三河広域経済連合会, 豊橋市, 東三河の高等教育機関等により構成されている社会人キャリアアップ連携協議会において, 本プログラム全般について評価を行う。これらの自己点検・評価に加え, 教育関係の専門家による外部評価委員会を設置し, 評価を受ける。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	学内に設置するIT農業サポートセンターにおいて, 修了生の農業・農業関連産業への従事状況をアンケートや聞き取り等で把握する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 愛知県, 豊橋市, 田原市, 豊川市, 新城市, 蒲郡市の関係部局担当者を委員に含む運営委員会において, 講義の内容や実施状況を説明し, 意見を聞く機会を年2回設ける。 (自己点検・評価) 愛知県東三河総局, 東三河広域経済連合会, 豊橋市, 東三河の高等教育機関等により構成されている社会人キャリアアップ連携協議会において, 本プログラムの実施状況や修了生の動向を説明し, 意見を聞く機会を年1回設ける。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	講義のうち79%を土曜日に開講する教室講義及び視察研修 で、21%をe－ラーニングにより実施している。						
㉕ホームページ:	(URL) http://www.recab.tut.ac.jp/						

事務担当者名:	河合孝弘	所属部署:	研究支援課センター支援係
連絡先:	(電話番号)0532－44－6574 (E-mail)kencen@office.tut.ac.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	豊橋技術科学大学	要件該当授業時数:	98時間
課程名:	東海地域の6次産業化人材育成	要件該当授業時数／総授業時数:	100%

1. 教室講義・視察研修

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	基本理念(ビジョン)の共有とビジネスプランの作成方法		2			○		山内高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
必修	ファシリテーション		1.5			○		林 加代子	株式会社ソーシャル・アクティ 代表取締役
必修	食品加工論Ⅰ		1.5			○		中西勘二	(株)丸八製菓 次長
必修	食品加工論Ⅱ		1.5			○		中西勘二	(株)丸八製菓 次長
必修	食品開発における栄養と機能		1.5			○		中西勘二	(株)丸八製菓 次長
必修	食品加工における安全・衛生管理/ 関連法規		1.5			○		中西勘二	(株)丸八製菓 次長
必修	6次産業化の必要性と展開パターン		1.5			○		藤井吉隆	愛知大学地域政策学部教授
必修	連携型6次産業化事例		1.5			○		藤井吉隆	愛知大学地域政策学部教授
必修	農業経営と企業経営		1.5			○		藤井吉隆	愛知大学地域政策学部教授
必修	プレゼンテーション手法		1.5			○		藤井吉隆	愛知大学地域政策学部教授
必修	行政機関における6次産業化の支援 施策と支援機関		1.5			○		松尾晃司	東海農政局経営・事業支援部 地域連携課 6次産業化専門官
必修	経営戦略		1.5			○		日野眞明	MORE経営コンサルティング(株) 代表取締役
必修	マーケティングの手法		1.5			○		日野眞明	MORE経営コンサルティング(株) 代表取締役
必修	経営理念／組織・経営者論		1.5			○		日野眞明	MORE経営コンサルティング(株) 代表取締役
必修	商品・サービスの価値形成の考え方・手法		3			○		山内高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
必修	農業と融資		1.5			○		宮川 直樹	豊橋信用金庫 事業支援部 次長
必修	農業制度資金の活用と経営支援の 仕組み		1.5			○		吉澤 一義	日本政策金融公庫名古屋支店 農業食品第一課 課長
必修	農産物の品質管理Ⅰ (HACCP概要)		3			○		功刀 由紀子 山口 治子	愛知大学地域政策学部教授 愛知大学地域政策学部准教授
必修	農産物の品質管理Ⅱ (GAP概要)		3			○		山本英治	(株)イノチオホールディングス 営農支援部長
必修	農産物輸出概論		1.5			○		広木 拓	日本貿易振興機構 名古屋貿易場センター所長代理
必修	農産物輸出実践論		4.5			○		平松 賢介 伊藤 拓馬 佐々木 北斗	(株)平松食品 会長 うなぎいも協同組合理事長 豊明花き(株) 事業開発部 国際取引課 課長
必修	ビジネスプランの作成Ⅰ		6			○		山村友宏	(株)サイエンス・クリエイト コーディネーター
必修	ビジネスプランの作成Ⅱ		6			○		山村友宏	(株)サイエンス・クリエイト コーディネーター
必修	ビジネスプランの発表		7			○		藤井吉隆	愛知大学地域政策学部教授
						○		横山順子	地域文化創造研究所 所長
						○		原田愛子	(株)石巻柿工房 代表取締役
						○		山村友宏	(株)サイエンス・クリエイト コーディネーター
必修	先進事例調査研修		19				○	各受入れ施設関係者	6次産業実践施設

2. オンライン講義（必修：e-ラーニング）

分類	科目名	配当年次	授業時数・単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	ファシリテーション		1.5			○		金子 怜司	早稲田アカデミーソリューション
必修	6次産業実践論(事例紹介を含む)		10			○		加藤寛昭	食と農研究所
必修	商品・サービス・価値形成の考え方・手法1		1.5			○		天野良英	(有)NEWビジネス研究所
必修	商品・サービス・価値形成の考え方・手法2		1.5			○		天野良英	(有)NEWビジネス研究所
必修	事業開始前のマーケティング		1.5			○		勝瀬典雄	(有)ビジネスプランニング
必修	商品化後のマーケティングと事例		1.5			○		高野克三	6次産業化プランナー
必修	財務会計Ⅰ		1.5			○		三好 巧	有限責任監督法人 トーマツ
必修	財務会計Ⅱ		1.5			○		三好 巧	有限責任監督法人 トーマツ
合計:	33科目		98						時間

- * 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。
- * 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。